

短 報

従来オスだけで記載されてきたコツブムシ科
(等脚目甲殻類) 3 種のメス個体の外部形態

布村 昇

金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設
927-0553石川県鳳珠郡能登町小木

**External Morphology of Female of
Three Species of Sphaeromatidae
(Crustacea: Isopoda)**

Noboru Nunomura

Noto Marine Laboratory Institute of Nature and
Environmental Technology, Kanazawa University,
Ogi, Noto-cho, Ishikawa 927-0553, Japan

Regarding Sphaeromatidae, some species have
been described only in male specimens, whereas

females are unknown. To identify the species in
female specimens, the external features of the three
female species, including a very insufficiently described
one, were redescribed.

1. はじめに

コツブムシ科は雌雄の形態差が著しい種類が多く、交
尾や交尾前ガードをしている場合などを除き、雌雄の対
応が困難なことが多い。また、この類はオスでは外部形
態が種ごとに明瞭なものの、メスの形態は互いに酷似し
ていることが多く、メスの形態が知られていなかったか、
記載が極めて不十分であった種がある。今回、3 種につ
いて同一産地やその近傍から見つかった同一種と考えら
れるメス個体の外形を中心に記載した。オナガウミセミ
のアロタイプの観察の機会をいただいた富山市科学博物
館に御礼申し上げます。

2. オナガウミセミ *Holotelson longicauda* Nunomura,
2004 のアロタイプ (図1)

本種のアロタイプ (Nunomura, 2004) でメスの記載が極
めて不十分であったので、静岡県下田市鍋田湾から1986年
4月4日に田中克彦氏により採集された体長6.3 mmの

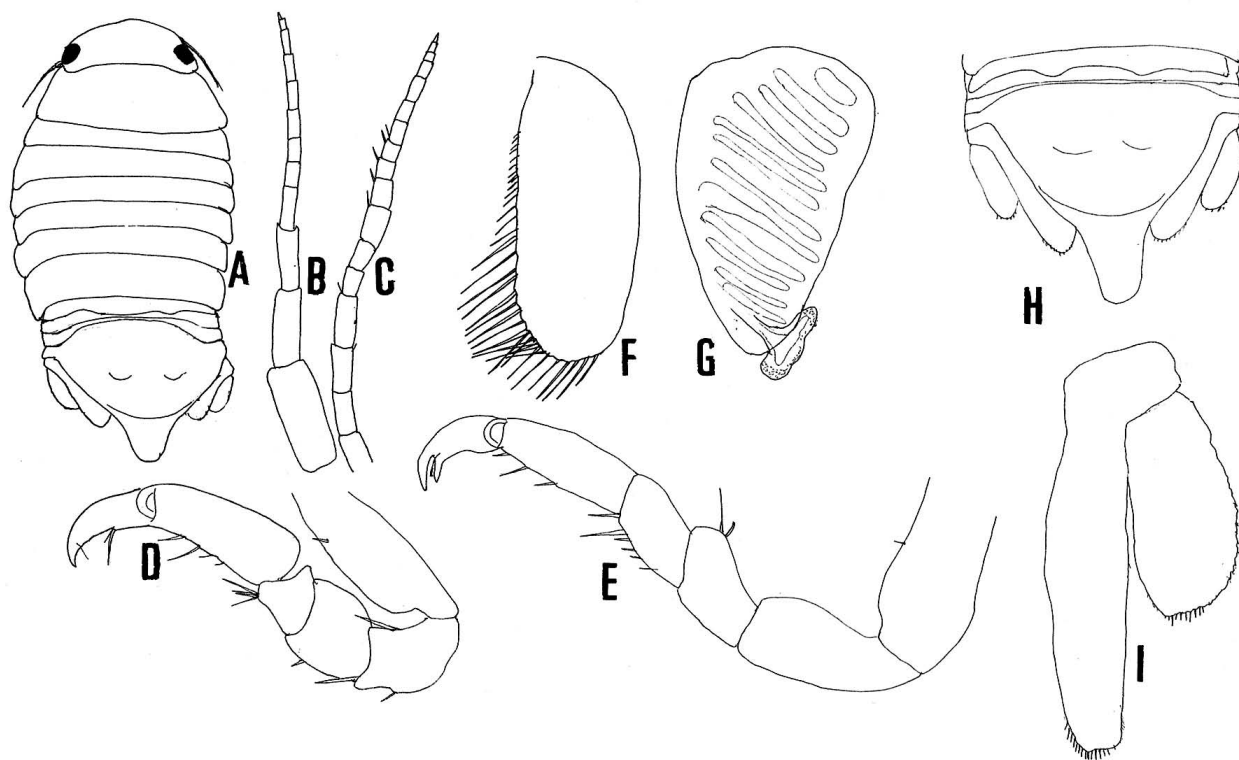


図1 オナガウミセミ *Holotelson longicauda* Nunomura, 2004 のアロタイプ。

A, 背面； B, 第1触角； C, 第2触角； D, 第1胸脚； E, 第7胸脚； F, 第2腹肢内肢； G, 第5腹肢内肢；
H, 腹部および尾部背面； I, 尾肢。

アロタイプ (TOYA Cr-13025) の外形態を観察した。

腹節上に1対の低い突起があり、腹尾節先端は丸みを帯び、幾分後方に突き出でている。この標本は第1触角が8鞭節、第2触角が14鞭節からなる。第5腹肢内肢先端に成体オスより複雑な構造のT字型で丸身を帯びた突起構造がある。尾肢内肢は長方形、外肢は長円系で内肢の3分の2の長さ。

3. カザリウミセミ *Holotelson decoratus* Nunomura and Ikehara, 1985 のメス個体 (図2)

従来メス未知であった (Nunomura and Ikehara, 1985) が、タイプシリーズと同一個体群と考えられる1984年5月23日に山形県飛島で佐藤雅希氏採集の体長6.2 mmのメス標本が発見され、外形との付属肢を観察した。

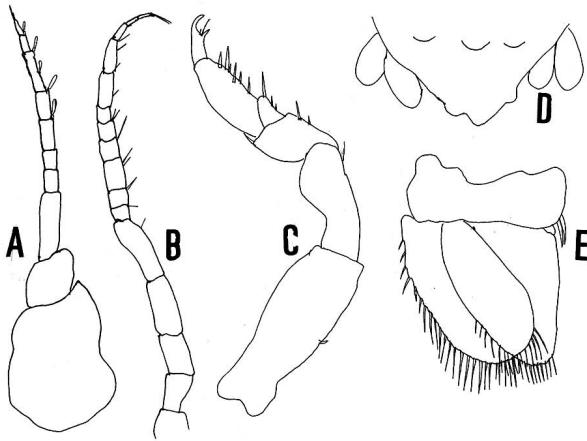


図2 カザリウミセミ *Holotelson decoratus* Nunomura and Ikehara, 1985. のメス個体。

A, 第1触角; B, 第2触角; C, 第1胸脚; D, 腹尾節および尾肢; E, 第2腹肢。H, 腹部および尾部背面; I, 尾肢。

第1触角は7鞭節、第2触角は12鞭節。尾肢は楕円形。腹尾節は三角形で両側面に小さい突起がある。オスに特徴的な最終胸節後縁や腹節背面の多数の突起が、メスにはいずれも無い。本標本は証拠標本として富山市科学博物館で保管される (TOYA Cr-23784)。

4. シリコブコツブムシ *Cymodoce gibberula* Nunomura, 2017 のメス個体 (図3)

Nunomura (2017) ではメス未知とされたが、1984年5月23日に山形県飛島で佐藤雅希氏採集の標本中に付属肢や口器の形態から本種のメスと考えられる個体が発見された。

体長は10 mm, 最大体幅に対する比は2.0倍。両触角鞭節数は14。尾肢は腹尾節後半に達する長さ。腹節背面に低い1対の突起があり、その前に3個の僅かな隆起があ

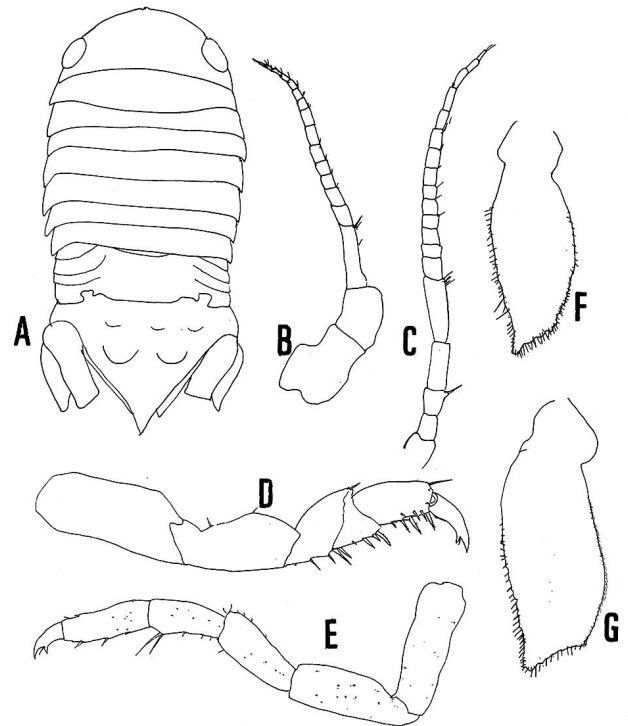


図3 シリコブコツブムシ *Cymodoce gibberula* Nunomura, 2017 のメス個体。

A, 背面; B, 第1触角; C, 第2触角; D, 第1胸脚; E, 第7胸脚; F, 尾肢外肢; G, 尾肢内肢。

る。腹尾節は三角形でその後縁中央は尖る。内肢は長方形、外肢内縁は丸身を帯び、その外縁は直線的で先端が尖る。本標本は証拠標本として富山市科学博物館で保管される (TOYA Cr-23785)。

5. 引用文献

- Nunomura, N., 2004. Marine isopod crustaceans collected from Izu Peninsula, Middle Japan. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, 27: 1-14.
- Nunomura, N., 2017. A new species of the genus *Cymodoce* (Crustacea: Isopoda: Sphaeromatidae) from Tobishima, Yamagata Prefecture, in the Sea of Japan. *Japan Sea Res.*, 48: 9-16.
- Nunomura, N. and Ikehara, K., 1985. Some isopod crustaceans collected in the middle coastal area of the Japan Sea. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, 7: 51-69.